

# 令和2年度 環境活動スタート事業

## 1 実施校

いわき立内郷第三中学校（全校生）

## 2 実施日

令和2年9月10日（木曜日）

## 3 内容

「みんなで知ろう！地球温暖化とごみ分別」をテーマに、福島県地球温暖化防止推進員の添田ゆかり氏による講演会を行いました。前半は、資料映像やクイズを交えながら地球温暖化についてわかりやすく説明しました。後半は、空き箱や飲料容器など様々な種類のごみを分別する体験を通して、正しい分別方法について理解を図りました。



#### 4 講演を聞いての感想

2100年未来の天気予報を見て驚きました。もし、今、自分たちが何もしなかったら、将来の人たちが大変な思いをしてしまうので、何かしら小さなことから始めたいと思います。また、リサイクルすることで再利用することができるので、意識したいです。

具体的に地球の現状を知って、いかに今大変なのかが身にしみました。また、ささいなことですが、1番驚いたのは、トイレのふたを閉めると節電できるということです。分別もラベルを取るなど正しく行っていきたいです。持続可能な社会を目指して努力していきたいと思えます。

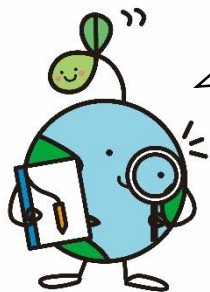
1番衝撃を受けたのは、2100年のニュースです。気温が40℃をはるかに超えていて、それが未来と思うとぞっとしました。映画の設定ならそんなに自分事には思えませんが、これは実際に起こりうる現実なわけです。強い危機感をいただきながら、今までの自分を振り返ることができました。

地球温暖化は、僕らが思っているよりも、ものすごいスピードで進んでいることを知った。自分たちよりも下の世代の子どもたちのためにも、自分が今できることを考え、それを実行し続けなくてはならないと感じた。

環境について、今までも地球温暖化やゴミの分別などを意識して生活していましたが、クイズに答えてみて、間違っていたこともあったので、講演を聞くことができよかったです。自分たちの未来に関わることなので、まずは自分が気をつけて、それから家族や友達に広げていこうと思います。

前から地球温暖化は耳にしていたが、さらにくわしく知ることができ、それに対する対策や自分たちが簡単に取り組めることなどを知ることができた。また、改めて3Rの意味を理解するとともに、それが今後どのように地球に影響するのか、3Rをしたものはその後どうなるのかを理解することができた。

地球温暖化とは、とてもスケールが大きく、自分たちにできることは限られているのかと思っていたが、今日の講演で、自分たちにできることはたくさんあり、小さなことから始めることが大切だと知った。



福島県の環境保全の  
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 電気を使わないときは、コンセントからプラグを抜く。

学習機の照明など、使っていない時はコンセントからプラグを抜くことを心がけました。また、手を洗う時は、こまめに蛇口を閉めることも心がけました。これからも少しずつの意識を大切にしたいと思います。



- ペットボトルのラベルをはがして分別すること。

きちんとラベルをはがして分別できた。また、ペットボトルの製品はあまり買わずに紙パックのものを買うように心がけることができた。紙パックもきちんと洗って解体し、折りたたんでからリサイクルごみに出せたので良かった。



- 残暑が厳しいため、よくエアコンを使います。特に、夜は寝苦しく温度を下げてしまいましたが、温度を少し上げるだけで電気代の節約になるので実践したいです。

目標どおり、温度を1℃上げてエアコンを使うことができました。来年も挑戦し、少しでも地球温暖化をくい止めたいです。



- 3R ・ 節水節電 ・ ゴミの分別
- クーラーの設定温度を下げる。
- ポイ捨てしない

1ヶ月以上、これら全てを実践できました。特に3Rでは、自分が買おうとしたものが本当に必要なのか、しっかり考えました。これからも環境問題について考え、節水や節電、3Rに取り組んでいきたいです。



- 寝ている時や学校へ行っている間、使っていない家電のプラグを抜く。

寝ている時にプラグを抜いて、電気代が減ったかはわからないが、意識して生活すると、たくさんの無駄があったことに気づくことができました。



- 出かける時は、エコバッグを持ち歩く。

エコバッグを持ち歩くようになりました。ないときもレジ袋の使用はできるだけ避けています。

住みやすい地球を次の世代に残していけるようにしたいです。

